

ホームページへの掲載	
7月	9日 掲載予定

岐阜県立岐阜高等学校

校長 折戸 敏仁
 学校住所 岐阜市大縄場3丁目1番地 電話 058-251-1234

- 1 会議の名称 岐阜高等学校学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|--------|---|
| 委員 | 石田 秀治※ | 岐阜大学応用生物科学部 教授
兼「生命の鎖統合研究センター(G-CHAIN)」センター長 |
| | 杉山 文康※ | 杉山建設株式会社 代表取締役社長 |
| | 高木 敏彦 | 岐阜県教育文化財団 理事長 |
| | 中村こず枝 | 地域住民 医師 |
| | 西山光知子 | 元PTA副会長 薬剤師（委員名は五十音順） |
| 学校側 | 折戸 敏仁 | 校長 |
| | 下野 泰輔 | PTA会長 |
| | 山本 淳一 | 事務部長 |
| | 片岡 潤子 | 教頭（司会） |
| | 西谷 徹 | 教頭（記録） |
| | 高木 雅紀 | 教務部長 |
| | 関谷 篤 | 進路指導部長 |
| | 北川 英治 | 生徒指導副部長 |
- 3 会議の目的 「将来の日本や世界の様々な分野でリーダーとして活躍する人材の育成」等の観点から、岐阜高校の教育活動の在り方について、地域住民や保護者及び有識者などから幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成30年6月28日（木） 13:00～15:00 岐阜高等学校 大会議室
 委員3人と学校側7人が出席
 ※石田 秀治氏と杉山 文康氏は所用のため欠席
- 5 会議の概要
- (1) 学校評議員の委嘱と校長挨拶
 - (2) 授業参観（3年文系「学校設定科目」）
 - (3) 岐阜高校の現状と今年度の取組について
 - ア 本校の教育方針と教育活動
 - イ 平成29年度自己評価学校関係者評価の報告
 - ウ 平成30年度学校教育計画（マニフェスト）各分掌における指導の重点
 - ① 教務部
 - ② 生徒指導部
 - ③ 進路指導部
 - ④ その他
 - (4) 意見交換
 - (5) 会議のまとめ

テーマ1 授業見学の感想、学校への提言、意見交換等

意見1 昨年も授業を見させていただいたが、昨年よりも授業に活気があり、少人数の授業であったり、グループ形式で授業が行われていたりとかで、先生からの一方的な説明のみでなく実践的な演習を取り入れ、対話を中心に進められていた。グループでの学習は、わからないことがあっても、お互いに学びあう形式は効率的で、学ぶ形としてとても良いと感じた。

意見2 昨年度、冷房について意見があったが、今年は各教室にサーキュレーターが設置・動作し、効果的に教室環境が保たれていた。ただ、理科室には冷房が入っていなかったが実験室だからなのか？少し暑いと感じた。

意見3 家庭との連携については、自分の経験でも記憶があるが、学校の情報が家庭に伝わらないということがあった。メール等で複数の方法で情報が提供されることはよいと思う。

意見4 生徒指導面では挨拶や交通安全指導を重視しているとのことであるが、廊下や教室等で生徒に出会っても、気持ちよく挨拶してくれる姿はとても気持ちよかった。

意見5 進路指導については、学業成績面だけではなく、自分の適性なども含めて、自分のために評価する姿勢ができればよいと思う。

意見6 自然科学部生物班の活躍は、岐阜県の文化表彰を検討する立場で知っていたが、改めて新聞等で見ると、とても凄いと感じた。

意見7 授業を見ての感想では、自分の頃とは隔世の感があった。昔は先生1人に対して生徒40数名だったが、今日の授業では生徒と先生が1対1で接しておられて、時代は変わっているのだと感じた。

意見8 今は授業で電子辞書を使うことは普通なのか？

回答 昔のように紙の辞書を引くことは少なくなっている。ほとんどの生徒が電子辞書を使って英語の学習を行っている。

意見9 交通事故の対策は大切だが、現在、さまざまな問題が発生している。特に、外部からの侵入者に対する対応など、危機管理の観点で、さらに対策が必要ではないか。

回答 本校は、各学年棟の1階に出入り口があり、侵入者があった場合、有効な防犯対策をどうすべきかを検討していたところである。防犯カメラは校内に数箇所あるが、何か良い方法がないか模索しているところである。

意見10 自分の経験から思うことであるが、最近の新入社員は自分が何を目指して、何をすべきかをイメージできない人が多い。高校生の段階から、キャリア教育というものを重視し、自らの目標を定め、その実現へ向けて努力する指導をさらに充実させてほしい。先生方から何か具体的な指示をしてはどうか。

回答 1学年の中で2～3割はしっかりした進路目標を持っている生徒がいるが、残りの7～8割は、親に言われて・・・という生徒である。こういう現状で、進路意識を自らから持てるようにするために、自分の興味や適性を見つける取り組みを行っているが、教員側からこのような方向はどうかとか言うより、生徒が自ら見つけることができると良いと考えている。

意見11 昔と違って、今の生徒は授業中に実践的な演習を行っていて羨ましいと思った。特に、実際に自分の解答した英文を、その場で先生から指導を受けている様子は学ぶ形として効果的で良いと思った。

意見12 表舞台に立って評価を受ける生徒の話はよく耳にするが、あまり評価を受けることがなく劣等感やコンプレックス等を抱えている生徒にも気を配ってほしい。そして、一人一人が自己肯定感を持てるような指導をこれまで以上に進めてほしい。

意見13 携帯電話の過度な使用が学習面への影響や人間関係のトラブル等につながることを考えると、ある程度踏み込んだ指導が必要ではないか。規制をすればその生徒も周りの生徒も守られるのではないか。

回答 本校の生徒に対して学校から厳しく利用制限をすることは今のところ考えていない。自らの使い方のルールを考えてもらいたいと思って定期考査前には「スマホフリーデー」を設定している。

意見14 「命の尊さ」講話などの取り組みはとても良い。勤務先でも自殺対策としてゲートキーパー研修等を実施しているのでは是非活用してほしい。

6 会議のまとめ

本日、授業見学、学校側からの経営方針及び具体的な取組みを説明し、本校の教育活動に対し、様々な視点からご意見をいただいた。学校の危機管理には様々なことがあるが、最も重要視しなければならないことであり、危機感を常に持って対応していきたい。

本日もいただいたご意見をもとに、教育活動の改善に取り組み、年度末の評議員会においては、その成果を報告できるよう学校経営に努めていきたい。